

弾性索の集合からなる把持・操作機構

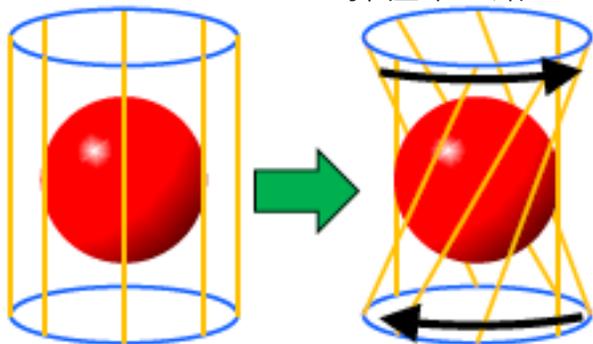
新技術の概要

柔らかい糸を鼓状に物体に絡める柔軟把持機構

複数の弾性索で2円環を結んだ円筒型機構により、弾性索を多方向から物体へ巻きつけて拘束する。非定型物体、柔軟物体、脆弱物体の把持が可能な単純な機構である。

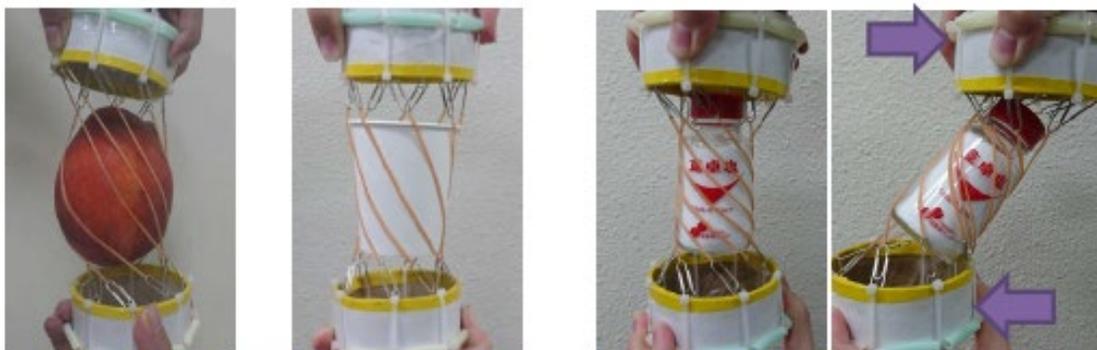
新技術の構成例

円環に相対回転：
弾性索が飴玉の包み紙のように拘束



新技術の実験結果例

円環に相対変位：
弾性索の集合が変形



不定形物体 脆弱物体 相対変位による操作

本技術のアピールポイント

- ・複数の糸が非定型物に巻きつき確実に把持可能
- ・非対称物に対しては、ゴムを用いることで緩みを抑える
- ・モータ駆動であり、高速の把持が可能

用途分野

非定型物体、柔軟物体、脆弱物体の把持

特許情報

発明の名称	把持方法及び装置
発明者	岩附 信行, 近藤 登
出願番号	特願2018-108624
公開番号	特開2019-209441
本学整理番号	17T179

